

令和元年度定時社員総会・理事会 議事録

日時 令和元年6月3日(月) 14:00~15:40

場所 B-biz LINK (南部児童館ホール)

参加者 阿南代表理事、伊藤専務理事、久保理事、木村理事、田島理事、千寿理事、佐藤理事 (Skype)、岡松監事、手島監事

(別府市役所) 田北観光部長、白石経済部長、日置観光課長、奥産業政策課長、後藤補佐、末崎係長、本田主査、魚返主査、鶴田主任

B-biz LINK 事務局スタッフ6名

■令和元年度第1回 社員総会

- ・冒頭、阿南代表理事からあいさつが行われた。
- ・本会議の冒頭に伊藤専務理事より、本日の出席者、欠席者の確認があり、過半数の方の出席が確認され、定款により社員総会、理事会ともに成立する旨の説明が行われた。
- ・伊藤専務理事より、定款により議長の選出が行われ、阿南代表理事が議長となり、議事の進行が行われた。

◎第1議案 役員を選任(再任)について

- ・事務局より役員任期が本日をもって満了となるため、すべての役員についての再任案が提出された。

上記の議案にして関して、参加者より満場一致で第1議案は承認された。

◎第2議案 事業報告、及び決算の承認について

- ・伊藤専務理事及び各マネージャーより平成30年度事業報告、及び専務理事より決算の承認に関する説明が行われた。
- ・岡松監事より、収入支出簿、報告書並びに通帳等を確認したところ適性な事業執行及び支出であったとの監査報告がされた。
- ・その後、出席者より質疑応答が行われた。

(理事)

- ・2点聞きたい。1点目は細かい各事業の主要な結果、例えば4Biの在庫、販売予定などの情報やデジタルサイネージの利用状況について聞きたい。
- ・2点目はB-biz LINKの役割と位置付けを話したい。収益性なのか公益性なのか。会社でいうと取締役という立場であれば我々は何を取り締まるのか。考えていることがあれ

ば話したい。

(事務局)

・4Bi について、在庫については、開発は事業者が数十社あり、販売業者との間にオフィスコマイヌさんが入り、事業者に対し買い取りをしたり委託を受けたりしている。B-biz Link として在庫はない。

・デジタルサイネージについては促進がまだできておらず、報告できる数値がない。今後新しくできた案内所にバスロケーションシステムも入っているので、バスの促進を含め案内所やウェブサイトでしっかり促進を図り利用率を上げていきたい。

(阿南代表理事)

・2点目のB-biz Linkが何を指すのかという話だが、今委託事業を中心にやっている状況を見ると、収益を意識しながら、公益性を中心にと考えている。市役所の構想の中でまずやっているという中で、ツーリズムバレー構想もあり、実現に向けてやっていくことになろうかと思う。

(理事)

・自分たちが理事に就かせてもらっている中でどう価値を出すかということが、不明瞭な中では役に立ちづらいと感じる。自分たちの関わり方について一度話ができる場があっても良いかと思う。

(阿南代表理事)

・そもそもそういった議論をすべきであると立ち上げのときから意識している。そういう場を相談して作っていきたい。

上記の議案にして関して、参加者より満場一致で第2議案は承認された。

以上

■令和元年度第1回理事会

・社員総会に引き続き、定款により阿南代表理事が議長となり、議事の進行が行われた。

◎第1議案 理事長及び専務理事の選定について

- ・事務局より理事長及び専務理事についての再任案が提出された。

上記の議案にしてに関して、参加者より満場一致で第1議案は承認された。

◎第2議案 令和元年度 事業進捗報告について

- ・伊藤専務理事及び各マネージャーより、令和元年度事業方針及び進捗報告について各事業の説明が行われ、最後に参加者より質疑応答が行われた。

(理事)

- ・ナイトエコノミーは地獄めぐりも話しているが、前提として裁量に任せてもらえるのか。8月、10月、いずれかまたは両方など裁量に任せてもらえるのなら、PRの段階で絶対であると勘違いされないように進めてほしい。

(事務局)

- ・広報の段階で別府は夜のコンテンツもあるということで進めていきたい。

(理事)

- ・1か月でも夜遅くまで開いているという形をとるのが良いかと思う。知らない人も多いので、鉄輪の事業主に夜何かをするというきっかけになればと思う。僕たち事業主も一緒にやっていきたい。

(阿南代表理事)

- ・事業費に関しては、10分の10の補助となっている。

(阿南代表理事)

- ・人手不足の件はいい案があれば

(理事)

- ・実際戦々恐々としているのが現実。どうしても海外の人が多いとコミュニケーションがとりづらい。うまくいけばと思う。

(阿南代表理事)

- ・実際に外国人の方を雇用された方がいると思うが。

(理事)

・留学生を実際雇用しており、APUの方だとコミュニケーションとりやすいが、そうでない専門学校生などはまだまだ取りづらい。どんどんやりたいが、ベンチャーの業者の方が多すぎて追いつかない状況。よりワーカースタイルが加速している。

(理事)

・報道であるとおりに、たくさんのホテルができていますので、先を見ると心配。形態を変えていく旅館も出てくるのでは。メンテナンスのスタッフが見つからない、取り合いの状況。5月からネパールの方を2名正社員で採用しており、仕事は熱心にやっていますが、初めて外国人スタッフを入れたので今後どのような展開になるのかは未知数。最低賃金の問題もあり都会で働きたい人も多い。深夜層、主婦層、学生層の三つの層に良い形でアピールできないか考えている。一人の仕事を4人でする、などの仕組みが作れば。

(理事)

・観光マーケティングチームの活動で、マーケティングの成果は公表されているのか。

(事務局)

・B-biz LINKのホームページでしている。国のデータも見られるようにしている。

(理事)

・鉄輪のa sideについて広報はどうなっているのか。

(事務局)

・チラシ、Webサイトを作成している。Webマーケティング事業のメンバーを運営に入れており、スタートアップの方々にPRしている。

・メディアの注目も高く、TOS(スパーク魂)、NHK、OABといったテレビの取材もありWebメディアなどで伸ばしていきたい。

(理事)

・注目度の非常に高い事業で、問合せを受けることもある。

(監事)

・地域プロデュースチームの資料はよく整理されている。都市部の企業との関わりということで未来共創イノベーションネットワークとは。また、ワーケーションとは。

(事務局)

・前者は三菱総研が主催で大企業とスタートアップと地域の組織といった3者が交わることによって社会課題が解決できないか、というワーキンググループのような形で取り組みを進めている。チームのひとつにこちらから別府市をフィールドとして働き方改革ができないか投げかけ、興味を持った企業に参画してもらっている。昨年度別府に実際に視察にきてもらい、どういった関わりができるのか半年間議論して今年度具体的な施

策を実施するような流れになっている。その中の一つとしてワーケーションという仕事の仕方がある。ワークとバケーションの造語であるが、JAL 始め今企業で働き方が選択できるようになりつつあり、一日の中で半分仕事、半分休暇、そういった働き方ができる場所として別府を提案している。そういった中で仕事ができるスペースが少なかったため鉄輪にコワーキングスペースを開設し、周りの湯治宿に泊まって仕事をする、という取り組みをしたい。鉄輪だけでなく、別府市のなかでそういうスペースが増えればと思っているので、どこであれば可能なのか、そういうところを議論していきたい。

(監事)

・インバウンド対象にキャッシュレス化に向けた取り組みの中で別府駅の決済端末の稼働状況、そのほかキャッシュレス化に取り組んだ事業があれば。また、RWC まで4か月切ったが、市内の事業者の反応や対応状況は。

(事務局)

・大分県が商工会議所とやっていくという形になっており、市町村の産業政策関係部署が導入に向けて補助金を整備する方向で進んでいる。我々も昨年案内所で試験的にキャッシュレスの端末を置いていたが、新しい機械をなかなか使う人は多くはなかった。別府は大阪や福岡などから入って寄る場所になるので、観光客については現金の方を持っている。ただ、キャッシュレスと相性の良い商品、例えばタクシーなどについては、カードやアプリを使った決済を使った利用もある。ただ、単価の低い飲食や観光案内所ではITカードなどの利用は見られない。現在ワンダーコンパスでも若干キャッシュレス対応しているものもあるが、利用はそこまで見られない。

(理事)

・2次交通のキャッシュレスの設置状況は。ほとんどのタクシーで使えるのか。

(事務局)

・共通の機械を入れているわけではないが、タクシー会社ごとに取り組みをしている。みなとタクシーさんが使っている機械を他社に広めようという動きがあると聞いている。バスはICカードしか聞いていない。

ワンダーコンパスにポケットチェンジという機械を入れており、いろんな国の現金を入れるとICカードにチャージされるというものもある。

(理事)

・GWに地獄周辺ですごい渋滞になって、苦情が多かった。自分たちが対応しなければならないが、それを超えているような気がする。京都でも観光公害と言われているが、その辺も考えなければ。誘客しても受け入れ過ぎになったときにどうするか、市レベルで対応してもらえれば。地域の方が困惑しているので一緒に考えられたら。

(阿南代表理事)

市役所の中でも議論したい。来年に向けて、考えていきたい。

(事務局)

・今年の年末年始も10連休。その部分で同じような形になるのはまずいと考えている。イギリスのバース市はお客様の振り分けなどコントロールしている。それがDMOの仕事であるのでうちでも何かできないかと考えている。

(理事)

・駐車場の案内の問題も。

(理事)

・先日、「ガイアの夜明け」が取材にきた。インターコンチネンタルが来ることによって、別府が生まれ変わろうとしている、との内容。NHKも同じような感じで。

うまくもっていかないと、違う方向に発信されてしまうのでは。うまくリリースできれば非常に別府観光に役立つと思う。

(阿南代表理事)

・市長も同じように考えている。

(阿南代表理事)

BIP事業部も来ているので・・・外国人が駅に降りて、最初に北側の案内所に流れて、そのあと南側にうまく流れるのか。具体的に滞ることはないのか。

(事務局)

・お客様に十分に相談に乗りたくても、後ろに中国、韓国の方がずらりと並ぶ。中国、韓国の方は簡単なツアー的な問合せが多く、欧米の方は具体的な相談が多いので、詳しく説明したくても、さっとした案内しかできなかった。今は連携として、ソニックが到着するとワンダーコンパスから手の空いているスタッフが来て一人ずつ確認し、長い説明が必要な方はワンダーコンパスに案内し、ロッカーが必要な人、チケットが必要な人など振り分けをしてくれる。お客様は待っている間に少し話を聞いてもらえるので満足度も上がっている。どちらかで連携して、たらい回しにならないよう心掛けている。

(理事)

・情報提供ですが、キャッシュレスの関係で、先日大きなセミナーがあった。様々な観光業界、金融機関の方が集まり、今後のQR決済がどうなるか、という内容であった。我々業界では決済手数料がすごく高いのでなかなか参入できないという話をしたところ、暮らしが便利になるためだから、手数料はそんなに高くする気はない、実際には1%台でやっていく、とみなさん言っていた。Paypayなど金沢市は町ぐるみで取り組んでいる。街のみなさんで取り組まないとキャッシュレス化は進まないのではないか。特に

小売店が問題になるのでは。外国人のお客様が少し買いたいというときでもすごく便利になるのではないかと、今後も勉強していく必要がある。

・もうひとつが、OYOグループ、インドのベンチャー企業がホテルの部屋数をすごい勢いで伸ばしている。個人で経営しているようなホテルにきて話をしている。やっと日本に参入してきた。世界6位の企業であり別府にも営業に来ている。状況によってはそこに投資してもらい売上げの110%から手数料払うなど、全国でも営業が始まっており、頭の隅に置いておく方が良いと思う。

・最後に、入湯税を上げたことで、仲間からものすごく問合せが来ている。福岡市でも宿泊税が上がり、北九州市も宿泊税をとるという話がある。全国でこのような議論が一気に加速しており、危機感を感じている。入湯税が独り歩きし、取れる人から取っていかうという考えが前に出てしまっている。良い形で全国のみなさんに伝えていかないと、なぜ旅館やホテルだけから徴収しているのか、という話になる。地域によってはすごく揉めているので、別府が先進してやってしまったのでいい形で利用できる仕組みを検討してほしい。

(阿南代表理事)

・入湯税については貴重な財源なので、来られたお客様のために使う。10月から使い道審議会もあるのでその中でしっかり議論していきたい。

(事務局)

・人材不足の件だが、旅館にも直接話を聞かせてもらって進めている。調査しているところだが、ふたつある。ひとつは、外国人の就労、外国人の生活をしに来る、稼ぎにくるところがある。日本人と同等以上の処遇で迎えなければならないので、正規社員として受け入れないといけないと思う。もうひとつは、メンテナンスの話もあったが、パートで働いてもらう時の受け入れをどうするのか。主婦、学生と同様に。

また、外国人については不明確な部分もあるので、制度については確認をしながら・・・、全国で22000人しかホテル・旅館に受け入れられない。キャパが決まっているので、別府には来てもらえないのではないかと不安もある。隣のホテルから処遇を良くして引き抜く、ということがないようにしたい。介護の方でも深刻。ほかの業界から引き抜くのではなく、眠っている人材を掘り起こすことが必要。

方針が何かお示しできるようになったらまた理事のみなさんに相談したい。

・議長阿南代表理事よって本会を閉会。

以上